

第8章

廃棄物

第8章 廃棄物

1. ごみの状況

平成 30 年度のし尿を除く一般廃棄物の総処理量は 18,597t(家庭系ごみ量 14,728t・事業系ごみ量 3,869t)で、家庭系ごみ量を市民1人1日当たりに換算すると約 518gになります。

総排出量を収集区分別に見ると、家庭系燃やすごみ量は 11,990t(焼却残渣・し渣含)、資源ごみ量は 1,740t、粗大ごみ量は 998tでした。(ごみ量は四捨五入)。

臨時ごみの申し込み件数は、402 件でした。また、特別有料品目の持込みは 61 件でした。

平成 30 年度の戸別収集サービスでは、ホームヘルパーを利用されている 1 人暮らしで、自らごみを排出場所まで持って行く事が困難な方向けのまごころダイレクト収集は 64 人、訪問診察や訪問看護、訪問介護を受けており、ご自宅で治療をしておられる方で、プライバシー保護などが必要な在宅医療廃棄物の収集では8人が利用されました。

また、平成 30 年度の地震及び台風で発生したガレキなどのうち、「大阪北部地震」で 16t、「平成 30 年度 9 月台風 21 号」で 35tを、災害廃棄物として処理しました。

今後も、4Rの推進の啓発に取り組みつつ、廃棄物の適正な処分を進めてまいります。

(1) 収集と処理

- 一般家庭から出る燃やすごみは、週 2 回収集を行いました。
- ペットボトル・プラスチック製容器包装(以下「廃プラ」という。)は、週1回収集を行いました。
- 蛍光灯・小型家電は拠点回収を行いました。
- 古紙(新聞・雑誌・ダンボール等)及び缶・ビン・乾電池の資源ごみは、月1回収集し、牛乳パックは、交野市日中活動系事業所連絡会の協力による拠点回収により、資源化しました。
- 粗大ごみは無料のものと有料のものを併せて月5点以内を電話申し込みにより戸別収集を行いました。
- 燃やすごみ・中間処理施設の可燃残渣・し尿処理施設のし渣及び粗大ごみから選別破碎した可燃物は焼却しました。
- 資源ごみ及び粗大ごみは中間処理施設で廃プラや金属類などを可能な限り再資源化を行い、その他の可燃物や残渣は焼却減容化し、焼却灰として大阪湾広域臨海整備センター等で最終処分を行いました。

◆人口とごみ処理量の推移(普通ごみには焼却し渣・残渣を含む)

年 度	28 年度	29 年度 9 月まで	29 年度 10 月から	29 年度	30 年度
人 口	77,913 人	77,816 人			77,834 人
燃やすごみ (普通ごみ)	11,026 t	5,670 t	5,557 t	11,227 t	11,990 t
資源ごみ	2,161 t	887 t	786 t	1,673 t	1,740 t
粗大ごみ (不燃粗大ごみ)	299 t	431 t	149 t	580 t	998 t
(可燃粗大ごみ)	1,914 t	1300 t	0 t	1300 t	
事業系ごみ	3,807 t	2,004 t	1,873 t	3,877 t	3,869 t
合 計	19,207 t	10,292 t	8,364 t	18,656 t	18,597 t

※焼却ごみの家庭系は平成 29 年 9 月までは「普通ごみ」10 月からは「燃やすごみ」による収集量

(2)資源ごみの処理

○廃プラは、交野市・枚方市・寝屋川市・四條畷市で運営する北河内4市リサイクルプラザで選別・圧縮梱包等の中間処理を行い、再資源化を行いました。

◆廃プラ・ペットボトルの処理量の推移

年度	28年度	29年度	30年度
ペットボトル	81,190 kg	79,340 kg	71,280 kg
プラスチック製容器包装	999,900 kg	981,660 kg	896,420 kg
合計	1,081,090 kg	1,061,000 kg	967,700 kg

○缶・ビン は四交クリーンセンターで資源ごみとして選別・圧縮梱包の中間処理を行ったほか、乾電池と拠点回収した蛍光灯は四交クリーンセンターで一時保管し、再生処理事業者で、再資源化を行いました。

◆缶・ビン・乾電池・蛍光灯の資源化量の推移

年度	28年度	29年度	30年度
アルミ缶	63,373 kg	30,304 kg	33,952 kg
スチール缶	87,230 kg	36,322 kg	63,599 kg
無色ビン	253,200 kg	40,032 kg	123,910 kg
茶色ビン	133,120 kg	53,382 kg	93,141 kg
その他ビン	82,200 kg	12,465 kg	70,736 kg
乾電池	24,320 kg	11,610 kg	16,464 kg
蛍光灯	12,470 kg	8,310 kg	7,118 kg
合計	655,913 kg	192,425 kg	408,920 kg

○古紙及び拠点回収した牛乳パック、ダンボール、小型家電は直接再生処理事業者で、再資源化を行いました。

◆古紙・牛乳パック・ダンボールの量の推移

年度	28年度	29年度	30年度
古紙	399,060 kg	364,340 kg	334,060 kg
牛乳パック	12,880 kg	10,680 kg	9,310 kg
ダンボール	1,060 kg	400 kg	120 kg
小型家電	—	1,500 kg	20,159 kg
合計	413,000 kg	376,920 kg	363,649 kg

(3)交野市ごみ減量化・リサイクル推進市民会議(4R市民会議)

ごみ減量・リサイクル推進に対する市民意識の向上と、良好な生活環境づくりを協議し、その実践活動を通して「環境にやさしい交野」の育成と4Rの推進に取り組む団体として、区長会を中心に組織され、「ごみの4R運動」や「レジ袋の削減」などを提唱し、各地域でのごみの排出マナーや意識高揚の啓発活動を行っています。

(主な事業活動)

- 1) 集団回収活動実態調査
- 2) マイバッグキャンペーン
- 3) ごみ処理現状把握のための施設見学
- 4) 市のイベントでの啓発物品配布



◆**集団回収実態調査結果の推移**

年 度	28 年度	29 年度	30 年度
古布・古着	100,930 kg	91,674 kg	101,199 kg
ダンボール	175,450 kg	229,280 kg	174,690 kg
新聞・雑誌	1,081,163 kg	999,775 kg	860,655 kg
紙パック	2,174 kg	2,530 kg	2,477 kg
アルミ缶	22,574 kg	23,300 kg	22,599 kg
スチール缶	514 kg	1,114 kg	2,400 kg
合 計	1,382,805 kg	1,347,673 kg	1,164,020 kg

(4) 廃油回収

交野市消費生活問題研究会が主体となって、各地域で偶数月の第3土曜日に、家庭から出る廃食用油の回収を行いました。

平成 30 年度は、17 ヶ所に廃油回収場所を設けて回収を行いました。

天野が原町自治会館・青山集会所・青葉台自治会館・松塚集会所・倉治公民館・幾野集会所・寺集会所・梅が枝集会所・藤が尾集会所・星田会館・妙見坂自治会館・星田市民センター・私市山手自治会館・星田西体育施設・市役所・個人宅2箇所

◆**廃油回収量の推移**

年 度	28 年度	29 年度	30 年度
廃 油	2,900 ㍓	2,900 ㍓	2,900 ㍓

2. し尿の状況

し尿収集運搬業務は、計画的な収集日程に基づき、2 ヶ月に 3 回、委託した 4 業者による収集を行いました。規制緩和による下水道指定業者の増加と公共下水の推進により、水洗切り替えを進めています。

平成 30 年3月末現在、し尿汲み取り人口は 827 人(456 世帯)で総人口に占める割合は 1.1%、浄化槽人口は 3,736 人(1,537 世帯)で総人口に占める割合は 4.8%となっています。

◆**し尿処理量の推移**

年 度	28 年度	29 年度	30 年度
生し尿	3,482.7 k㍓	3,067.1 k㍓	3,066.0 k㍓
浄化槽汚泥	2,598.0 k㍓	2,739.5 k㍓	2,693.5 k㍓